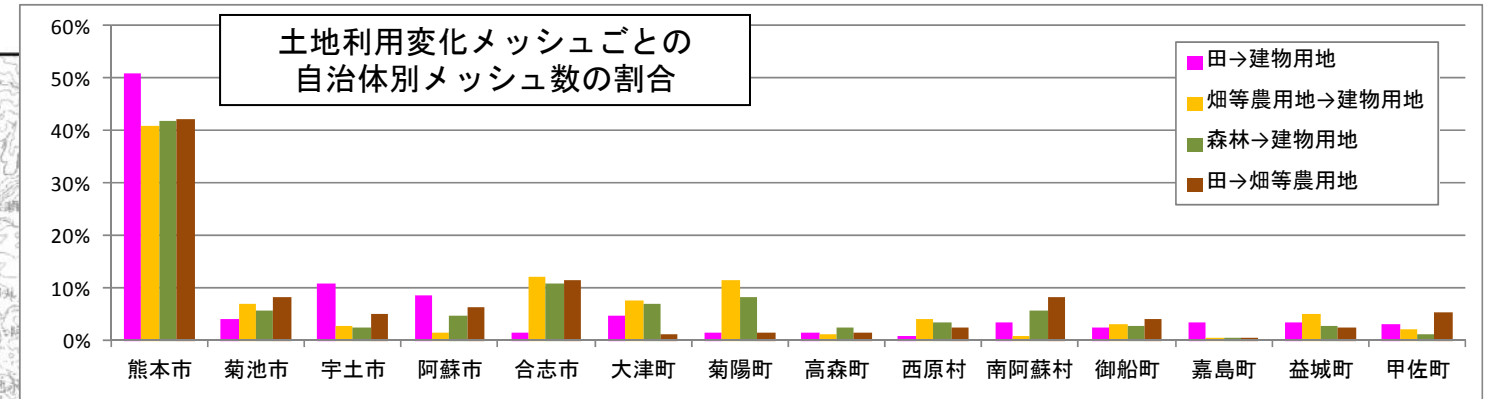


図2 地下水位と土地利用変化

地下水揚水量が全体的に減少する中で地下水位が低下しており、土地利用変化に伴う地下への降雨の浸透量減少が、一つの要因としてクローズアップされている。阿蘇地域（阿蘇市内）では、1993年から2013年の間に全体的に地下水面の低下がみられる。豊肥本線の沿線や内牧地区で水田の宅地化が進行していることが図面から把握できる。

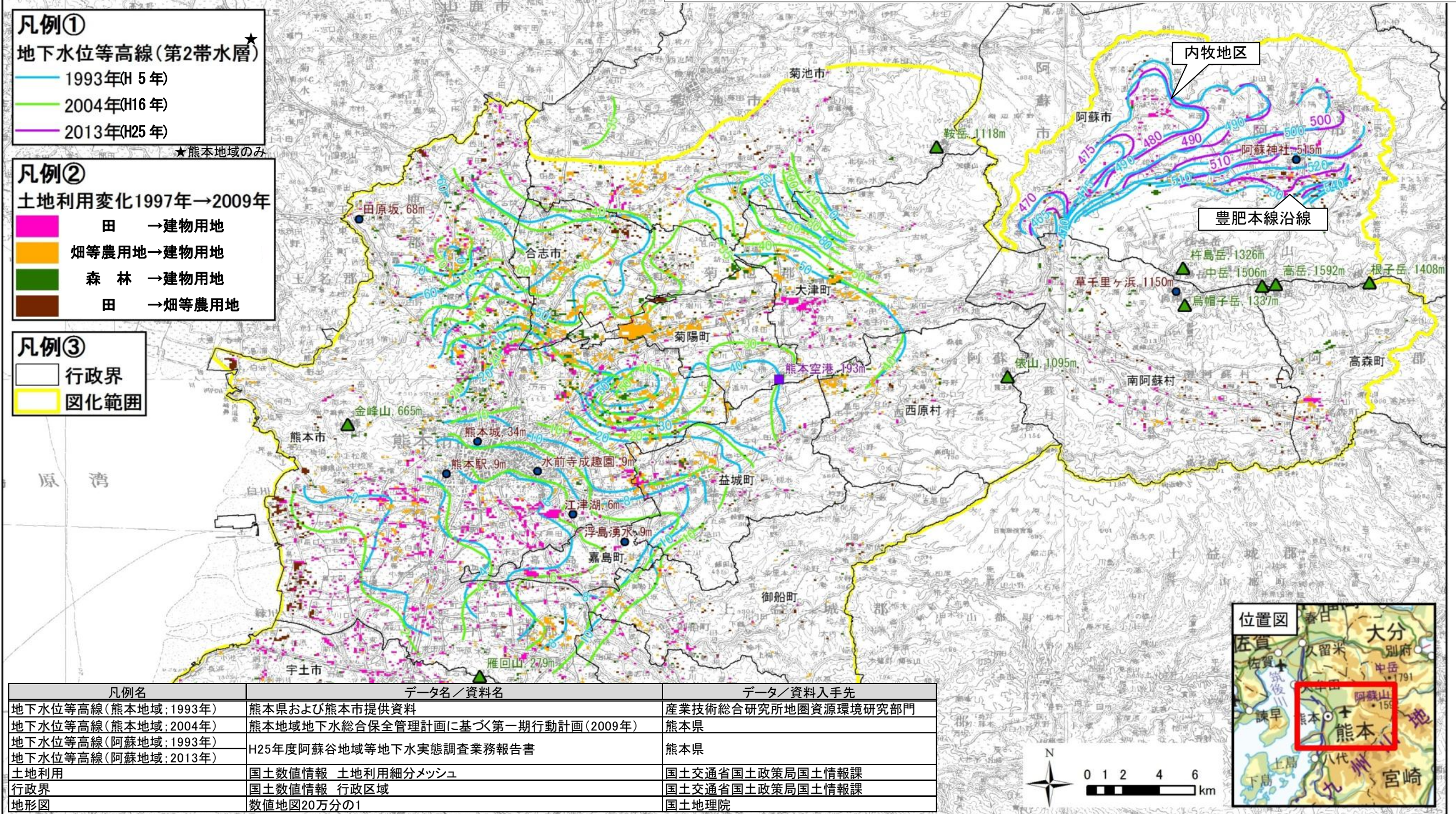
熊本地域でも1993年から2004年にかけて地下水面が低下しており、熊本市や合志市、大津町、菊陽町での低下がやや目立つ。下図と右グラフを合わせてみると、熊本市内では南部を中心に水田の宅地化が進んでいることや、合志市、菊陽町、大津町では畑等農用地からの宅地化が進行していることが読み取れる。



凡例①
 地下水位等高線(第2帯水層)
 1993年(H5年)
 2004年(H16年)
 2013年(H25年)
 ★熊本地域のみ

凡例②
 土地利用変化1997年→2009年
 田 → 建物用地
 畑等農用地 → 建物用地
 森林 → 建物用地
 田 → 畑等農用地

凡例③
 行政界
 図化範囲



凡例名	データ名/資料名	データ/資料入手先
地下水位等高線(熊本地域;1993年)	熊本県および熊本市提供資料	産業技術総合研究所地圏資源環境研究部門
地下水位等高線(熊本地域;2004年)	熊本地域地下水総合安全管理計画に基づく第一期行動計画(2009年)	熊本県
地下水位等高線(阿蘇地域;1993年)	H25年度阿蘇谷地域等地下水実態調査業務報告書	熊本県
地下水位等高線(阿蘇地域;2013年)		
土地利用	国土数値情報 土地利用細分メッシュ	国土交通省国土政策局国土情報課
行政界	国土数値情報 行政区域	国土交通省国土政策局国土情報課
地形図	数値地図20万分の1	国土地理院

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000(地図画像)、数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(地図画像)及び電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情複、第758号)」

注意！！ 本資料の作成にあたっては、専門家の助言をうけておりますが、利活用にあたっては、専門家の監修を受けるようにして下さい。